

次号予告

特集 ゲーム理論から学ぶ：人類への知見

ビジネスにおけるゲーム理論的分析への行動経済学的アプローチ

-松林伸生（慶應義塾大学理工学部管理工学科）
純粋戦略で可解な対称ゲーム—純粋戦略均衡の存在と可換性—
.....渡辺隆裕（東京都立大学大学院経営学研究所）
「イノベーターのジレンマ」のゲーム理論的解明.....安田洋祐（大阪大学大学院経済学研究所）
金融市場における価格インパクトを考慮した取引執行ゲーム
.....大西匡光，下清水慎（大阪大学大学院経済学研究所）
搜索資源配分ゲームに関する研究の変遷.....宝崎隆祐（防衛大学校）

メンバーリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●今月号の特集は「ソフトウェアとOR」です。6人の著者からさまざまなORに関連するソフトウェアをご紹介します。ソフトウェアを使用した分析例などもわかりやすく説明されており、こんなに簡単にいろいろな問題が記述、解析できるのかと驚いています。

●私をはじめ専門的なソフトウェアを取り扱ったのは数値システムのNUOPT（現・Numerical Optimizer）で、大学4年の卒業研究で利用しました。まずは平均・分散モデルや平均・絶対偏差モデルなど簡単なポートフォリオ最適化問題を解いたのですが、授業で習った難しい問題がこんなにも簡単に解けるのかと思ったのを覚えています。

●あれから約20年がたち、私も企業の研究所や大学など所属を変えてもNUOPTを使い続けてきました。

数値計画法で解ける問題の種類も増え、解ける規模に異なっても格段に上がってきた中でそれらの技術をキャッチアップし、商用のソフトウェアとして品質を維持し続けているためには多大な企業努力が必要だったと思います。

●ソフトウェアの開発は論文を書けばよい研究者とは異なり、最新の技術を取り入れる研究力が必要なのはもちろん、顧客が使いやすいインターフェース、どのようなデータが投入されても稼働するロバスト性、顧客に対するサポート体制など多くの要素が必要となります。今回ご紹介されたソフトウェアはそのような企業努力の上に成り立っていることを使用する側は認識しなければなりません。

（山本 零）

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- 委員長 繁野 麻衣子（筑波大学）
特集担当編集委員 原田 耕平（株式会社NTTデータ数値システム）
委員 朝日 弓未（東海大学）、伊豆永 洋一（神奈川大学）、井床 利生（IBM基礎研究所）、井家 敦（神奈川工科大学）、鶴飼 孝盛（防衛大学校）、大竹 恒平（東海大学）、加藤 怜（公益財団法人鉄道総合技術研究所）、小林 隆史（立正大学）、佐久間 大（防衛大学校）、笹谷 俊徳（東京ガス株式会社）、猿渡 康文（筑波大学）、高野 祐一（筑波大学）、生田目 崇（中央大学）、野々村 宏司（法政大学）、蓮池 隆（早稲田大学）、山本 零（慶應義塾大学）、吉田 琢史（株式会社東芝）

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和2年4月号 第65巻 第4号 通巻712号

代表者 齊藤 裕

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 繁野 麻衣子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社（Tel 03-3546-1337）へ。